

2019年度シラバス

学科名	学年	課目名	必修選択の別	時間数	単位	実務経験	授業の方法							
授業の概要	1学年	医薬品学	-	150	5	○	講義	演習	実習実技					
							○	○						
授業の概要	登録販売者試験を解くのに必要な知識を身に付ける。													
学習目的	医薬品の特性と基本的な知識と主な医薬品の作用を学び、地域に貢献できるコーディネーターを目指す。													
教科書	到達目標となる資格試験を主催する団体の発行するテキスト、オリジナルプリント													

授業計画

回	主題	授業内容	備考
第1回	登録販売者について知る 医薬品の基本を学ぶ 薬害の歴史を学ぶ	登録販売者試験、職域について学ぶ 医薬品の本質(含 プラセボ効果)を学ぶとともに、セルフメディケーションについて理解する 薬害の歴史を通して、薬のリスク・ベネフィットについて考える	
第2回	かぜ症候群とその薬を学ぶ ②(発熱、疼痛)	かぜ症候群でみられる頭痛・発熱症状とその原理を、生理学・機能形態学と通して学ぶ 頭痛・発熱症状に対応する解熱鎮痛抗炎症薬の薬理を学ぶ	
第3回	かぜ症候群とその薬を学ぶ ①(全般、呼吸器)	かぜ症候群の一般症候と呼吸器症状とその原理を、生理学・機能形態学と通して学ぶ 呼吸器症状に対応する鎮咳去痰薬等の薬理を学ぶ	
第4回	かぜ症候群とその薬を学ぶ ③(生薬成分と漢方製剤の基礎)	漢方薬の特徴・基本的な考え方を学ぶ かぜ症候群に対する漢方薬と、処方の原理を学ぶ	
第5回	かぜ症候群とその薬を学ぶ ④(口腔用薬、含嗽薬、滋養強壮剤、ビタミン剤)	かぜ症候群の際に併用される含嗽薬、眠気を防ぐ成分、滋養強壮薬、ビタミン剤について学ぶ	
第6回	アレルギーに対する薬を学ぶ	アレルギー反応の起こる原因を、生理学・機能形態学と通して学ぶ かぜ症候群と、花粉症などのアレルギー性鼻炎などに使われる抗アレルギー薬をそれぞれ学ぶ	
第7回			
第8回	アレルギーに対する薬を学ぶ ④(口腔用薬、含嗽薬、滋養強壮剤、ビタミン剤)	アレルギー以外に使用される点眼・点鼻薬について学ぶ 神経系の生理学・機能形態学を学ぶ 中枢に作用する催眠薬、鎮暈薬、小児鎮静薬について学ぶ	
第9回			
第10回	アレルギーに対する薬を学ぶ	アレルギー反応の起こる原因を、生理学・機能形態学と通して学ぶ かぜ症候群と、花粉症などのアレルギー性鼻炎などに使われる抗アレルギー薬をそれぞれ学ぶ	
第11回			
第12回	その他の点眼・点鼻薬 中枢神経系作用薬を学ぶ	アレルギー以外に使用される点眼・点鼻薬について学ぶ 神経系の生理学・機能形態学を学ぶ 中枢に作用する催眠薬、鎮暈薬、小児鎮静薬について学ぶ	
第13回			
第14回	薬の働く仕組みと薬物相互作用を学ぶ①	人体における薬物動態を学ぶとともに、小児・高齢者・妊婦・授乳婦における薬の動きを考える	
第15回			
第16回	副作用について学ぶ	全身的に現れる副作用の機序とその対応について学ぶ	
第17回			
第18回	機能形態学 (感覚器系)	感覚器官(目・耳・鼻・口・皮膚)の形態と機能について学ぶ	
第19回			
第20回	機能形態学 (筋肉・骨格系、消化器系)	筋肉・骨格系の機能形態学を学ぶ 消化器官の機能形態学を学ぶ	
第21回			
第22回	機能形態学 (循環器系、血液・造血器系)	循環器系(心臓・血管・リンパ系)の機能形態学を学ぶ 血液と造血器官の機能形態学を学ぶ	
第23回			
第24回	機能形態学 (泌尿器系、生殖器系)		

第25回	鼻疾患薬、眼科用薬、皮膚に用いる薬、歯や口中に用いる薬		
第26回	胃に作用する薬 腸に作用する薬	上部消化管に起こる疾患(胃痛や胸やけ、胃のもたれ)について学び、制酸剤、健胃薬、消化薬の薬理と薬物治療について理解する 下部消化管に起こる疾患(下痢、便秘)について学び、整腸剤、止瀉薬、瀉下薬の薬理と薬物治療について理解する	
第27回			
第28回	胃腸鎮痛鎮痙薬 その他の消化器官用薬	胃や腸の痛みの原因と胃腸鎮痛鎮痙薬について学ぶ その他の消化器官用薬として、浣腸薬と駆虫薬について学ぶ	
第29回			
第30回	心臓などの器官や血液に作用する薬		
第31回	排泄に関わる部位に作用する薬、婦人薬	泌尿器系の生理学・機能形態学を学び、そこに作用する薬について学ぶ 泌尿器系に起こる副作用とその機序について学ぶ 性ホルモンについて学び、女性特有の症状について知る	
第32回			
第33回	生薬学	生薬について学び、漢方処方製剤の基礎をつくる	
第34回			
第35回	中枢神経に作用する薬(睡眠)	中枢神経系の生理学・機能形態学を基に、催眠薬や睡眠防止薬などの中枢神経に作用する薬について学ぶ	
第36回	口や喉に用いる薬 皮膚に用いる薬	口腔や咽頭について復習し、口腔咽頭薬、含嗽薬、歯痛・歯槽膿漏薬、口内炎薬について学ぶ 皮膚の構造を学び、皮膚に用いる薬について学ぶ	
第37回	禁煙補助薬 滋養強壮保健薬	その他の医薬品について学ぶ	
第38回	公衆衛生用薬 一般用検査薬	※既に学んだ成分が多くあるため、新たな成分について重点的に学ぶ	
第39回	禁煙補助薬、滋養強壮保健薬、公衆衛生用薬について学ぶ	喫煙について学び、禁煙の必要性とその補助薬を学ぶ 細菌やウイルス、害虫の特性と、それに使用する消毒薬や殺虫剤・忌避剤について学ぶ	
第40回	漢方処方製剤	漢方の基礎を学ぶ 各漢方処方製剤に含まれる生薬の特性を考慮しながら、各漢方処方の特徴まで学ぶ	
第41回	薬事関連法規について学ぶ	医薬品販売に係る関連法規の種類と法の目的、内容について学ぶ(医薬品医療機器等法)	
第42回			
第43回	症状からみた主な副作用 医薬品の適正使用と安全対策について学ぶ	全身的又は局所的に現れる副作用の特徴を学ぶ 医薬品の適正使用のための啓発活動について学ぶ	
第44回			
第45回	症状からみた主な副作用 医薬品の適正使用と安全対策について学ぶ	全身的又は局所的に現れる副作用の特徴を学ぶ 医薬品の適正使用のための啓発活動について学ぶ	
第46回			
第47回	食品(保健機能食品等)	健康食品等について、その定義を実際の表示等も含めて学ぶ	
第48回	特別な配慮を要する人	小児や高齢者等の身体的特徴と、その配慮について学ぶ	
第49回	医薬品の適正使用・安全対策	実際の添付文書等を見比べながら、どのような医薬品適正使用・安全対策がとられているかを学ぶ	
第50回			

到達目標	「登録販売者試験」の資格取得を目指す
成績評価	期末試験、単位認定60点以上
備 考	

2019年度シラバス

学科名	学年	課目名	必修選択の別	時間数	単位	実務経験	授業の方法							
メディカルビジネス科	1学年	医療事務	-	210	7	○	講義	演習	実習実技					
							○	○						
授業の概要	医療事務の基本と技能を身につけ、医療機関の受付・医療保険請求事務の実務ができる。医事コンピュータの基礎を理解し、患者基本情報、保険情報、病名入力および診療報酬明細書の発行ができる。調剤薬局における調剤報酬請求事務の技能を習得する。													
学習目的	医療事務に求められる専門的な知識・技術を習得し、必要とされる各種検定を取得しながら、病院やクリニックなどで活躍できる人材の育成を目指す。													
教科書	到達目標となる資格試験を主催する団体の発行するテキスト、オリジナルプリント													

授業計画			
回	主題	授業内容	備考
第1回	医療保険制度1 オリエンテーション	あいさつの励行、医療保険制度の基礎知識、簡単な薬剤料計算	
第2回	初診料・再診料	「初診・再診」の診療報酬点数算定、診療報酬明細書記載要領と点検	
第3回	医学管理	「医学管理」の診療報酬点数算定、診療報酬明細書記載要領と点検	
第4回	在宅医療	「在宅」の診療報酬点数算定、診療報酬明細書記載要領と点検	
第5回	処置・手術	「処置」「手術」の診療報酬点数算定、診療報酬明細書記載要領と点検	
第6回	麻酔	「麻酔」の診療報酬点数算定、診療報酬明細書記載要領と点検	
第7回	検査1	「検査1」の診療報酬点数算定、	
第8回	検査2、病理診断等	「検査2」の診療報酬点数算定、診療報酬明細書記載要領と点検	
第9回	リハビリ・入院	「リハビリ」「入院」の診療報酬点数算定、診療報酬明細書記載要領と点検	
第10回	医療保険制度2	医療保険制度2（社保・国保等）	
第11回	医療保険制度3	医療保険制度3（後期高齢者医療制度）	
第12回	投薬	「投薬」の診療報酬点数算定、診療報酬明細書記載要領と点検	
第13回	注射	「注射」の診療報酬点数算定、診療報酬明細書記載要領と点検	
第14回	画像診断	「画像診断」の診療報酬点数算定、診療報酬明細書記載要領と点検	
第15回	点数算定と明細書記載のまとめ	これまでの学習の総まとめとして算定と記載要領、点検の見直しと練習	
第16回	接遇を身につける	患者接遇の基本、応対の基本、患者受付の実際	
第17回	点数算定と明細書記載のまとめ	これまでの学習の総まとめとして算定と記載要領	
第18回	明細書作成	学習の総まとめとして、外来と入院のカルテから診療報酬明細書作成	
第19回	医事システムの理解	医事システムの特徴をふまえた上で、カルテを元に新患受付（患者登録）をし、診療報酬明細書の上書き部分を理解する	
第20回 ～ 第25回	レセプト点検	コンピュータの特徴を理解した上で、カルテとレセプト（診療報酬明細書）の突合せ点検を行う	
第26回	修了問題で理解度を図る	学科、実技（点検）の練習問題に取り組む	
第27回 ～ 第36回	受験対策	模擬試験問題等での演習	
第37回 ～ 第54回	医事ソフトの理解	医事PC 基礎症例、練習症例の入力 修了試験への取り組み	

第55回 ↓ 第62回	調剤報酬点数の理解①	薬の知識等、調剤報酬点数の算定(保険薬局早見表利用)	
第63回 ↓ 第70回	調剤報酬点数の理解②	調剤報酬明細書作成と点検 修了試験への取り組み	

到達目標	「医療事務技能審査試験(メディカルクラーク(医科))」の資格取得を目指す 「医事オペレータ技能認定試験(メディカルオペレータ)」の資格取得を目指す 「調剤報酬請求事務技能認定」の資格取得を目指す
成績評価	期末試験、単位認定60点以上
備 考	

2019年度シラバス

学科名	学年	課目名	必修選択の別	時間数	単位	実務経験	授業の方法							
授業の概要	1学年	調剤事務	-	90	3	○	講義	演習	実習実技					
							○	○						
授業の概要	薬学一般、保険薬局業の他、サプリメント製造についての基本的知識を学び、実習する。													
学習目的	薬に対する幅広い知識を持つとともに、医療人にふさわしい高い実践力と研究力を併せ持った人材の育成を目指す。													
教科書	到達目標となる資格試験を主催する団体の発行するテキスト、オリジナルプリント													

授業計画

回	主題	授業内容	備考
第1回	調剤報酬	調剤報酬、処方箋	
第2回	調剤報酬点数表	調剤報酬点数表の構成	
第3回		調剤報酬点数表	
第4回	調剤報酬の請求	調剤報酬	
第5回		調剤報酬明細書の作成	
第6回		調剤報酬明細書の点検	
第7回		公費負担の調剤報酬明細書	
第8回		調剤報酬明細書請求	
第9回	患者受付の実際	窓口対応、受付の事例	
第10回	薬剤入門	薬の基礎知識	
第11回		薬の働き	
第12回		医薬品の開発	
第13回		疑義照会	
第14回	医療保険制度	医療保障制度	
第15回		医療保険制度	
第16回		後期高齢者医療制度	
第17回		公費負担医療制度	
第18回		その他の制度	
第19回	患者接遇と受付実務	医療人として守るべきこと	
第20回		望まれる医療従事者の在り方	
第21回	患者接遇と受付実務	応対の基本	
第22回		言葉遣いの基本	
第23回		好感を持たれる態度	
第24回		電話応対の基本	
第25回		クレーム対応	
第26回		職場のコミュニケーション	

第27回	サプリメント実習	確認テスト	
第28回		確認テストの解答解説	
第29回		確認テスト	
第30回		確認テストの解答解説	

到達目標	サプリメント製造に関わる知識を習得し、オリジナルのサプリメントを作る
成績評価	単位認定、出席率、授業態度、レポート等の提出で総合的判断
備 考	

2019年度シラバス

学科名	学年	課目名	必修選択の別	時間数	単位	実務経験	授業の方法							
授業の概要	1学年	パソコン	-	90	3	○	講義	演習	実習実技					
							○	○						
授業の概要	ワードの基本的な編集機能と、エクセルの基本的な操作を学ぶ。													
学習目的	MOS試験に合格を目指し、事務仕事を行う上でスムーズに書類の作成が出来るようにする。 文章の作成と管理を学習する。													
教科書	到達目標となる資格試験を主催する団体の発行するテキスト、オリジナルプリント													

授業計画

回	主題	授業内容	備考
第1回	文書作成の基本	PC、ソフトウェアの起動から、新しい文書の作成	
第2回	文章内の移動 文章内検索	WordからPDFデータを開き、編集、外部データからテキストの挿入方法を確認する	
第3回	ハイパーリンク タイピング技術	長文の文章内で特定の文字、文章を探すのが難しいので、効率よく探す方法を伝える 便利な機能として、クリックするとWebブラウザが立ち上がり、WEBが表示される機能を学習する	
第4回	文章の書式設定	ページ設定を理解しページサイズや余白、ヘッダーフッターなどを変更できるように確認しながら進める	
第5回	ヘッダー、フッター ページの番号、色、罫線、透かし	ヘッダー、フッターの復習 ページの背景要素を中心に、デザインタブの設定を確認する	
第6回	文章オプション、背景オプション	表示モード、倍率の変更、ウインドウ分割、プロパティの設定を学習する	
第7回	編集記号の表示・非表示とツールバーのカスタマイズ 印刷設定	編集記号を知り、その表示、非表示方法を理解する 文章の印刷設定を理解する	
第8回	文章の保存方法 ドキュメントのチェック方法	PDFファイルやテキストファイルの保存を実際に行ない、違いを確認する 文章内に個人情報が無いかチェックしながら進める	
第9回	ドキュメントのチェック方法を理解する これまでの学習の復習	文章内に判別しにくい情報が無いかチェックしながら進める 違うバージョンで制作されたドキュメントとの互換性	
第10回	文章内の文字列のコピー、移動、検索、置換、登録方法を理解する	ショートカットキーの種類を伝える オートコレクト機能でスペルミスを減らす	
第11回	文字列と段落	文字列のコピー、移動、検索、置換を学ぶ オートコレクト機能を使い、単語の登録、修正をする フォントの変更をする	
第12回	文字列、段落の書式設定	行間、段落、間隔、インデントの設定 書式のクリア、コピー、貼り付け、スタイルの適用などを理解する	
第13回	文字列、段落の並べ替え、グループ化の理解、表の作成	段組み、段区切り、セクション区切りの挿入を理解する 行数や列数を指定して表を作成 文字列を表に変換を学習する	
第14回	表の作成、変換、変更方法	表のスタイル、スタイルオプションの設定を学習する 表のデータ並び替えや、セルの調整を学習する	
第15回	リストの作成、変更	箇条書きや段落番号を設定する リストのレベルを変更する 段落番号の開始番号を設定する	
第16回	参考の作成と管理方法	脚注や文末脚注の挿入を学ぶ 資料文献を登録、変更し削除方法まで学ぶ 図、表番号の挿入、変更方法を学ぶ	

第17回	グラフィック要素の挿入と書式設定	図や图形の挿入方法、サイズ調整を確認する スクリーンショットやテキストボックスを挿入する方法の確認	
第18回	グラフィック要素の書式設定	図や图形を中心に、スタイル適用や、変更調整方法を学ぶ 小テストを行いテストの準備	
第19回	SmartArtを挿入、書式設定	複数の图形を組み合わせたSmartArtを自在に操れるよう学習する	
第20回	検定試験合格を目指し模擬試験 ①	これまで学んだ事を活かし試験問題を解く	
第21回	検定試験合格を目指し模擬試験 ②	問題を解きWordの理解を深める	
第22回 ～ 第25回	検定試験合格を目指し模擬試験	検定試験でミスをしないよう問題に慣れる	
第26回 ～ 第30回	模擬試験、タイピング	可能な限りキーボードを見ずにスムーズに入力できるよう練習する	

到達目標	「MOS(ワード)試験」の資格取得を目指す
成績評価	期末試験、単位認定60点以上
備 考	

2019年度シラバス

学科名	学年	課目名	必修選択の別	時間数	単位	実務経験	授業の方法							
授業の概要	1学年	ビジネスマナー	-	30	1		講義	演習	実習実技					
							○	○						
授業の概要	社会人に求められる常識的な心得を十分理解させ、ビジネスコミュニケーション全般を学ぶ。													
学習目的	ビューティ・コーディネーターの役割、必要な知識やスキルについて理解し、お客様に適切な対応ができる人材の育成を目指す。													
教科書	到達目標となる資格試験を主催する団体の発行するテキスト、オリジナルプリント													

授業計画

回	主題	授業内容	備考
第1回	サロンにおけるビジネススキル	サロンで働く職業人としての心構えを作る	
第2回	ホスピタリティを発揮するビジネスコミュニケーション	ホスピタリティとは何かを学ぶ	
第3回	サロン内のコミュニケーション	日常のコミュニケーションの基本を身に付ける	
第4回	接客の基本と電話の受け方・かけ方	聴き方と話し方の基本、電話対応の基本を学ぶ	
第5回	サロンのメディア活用	サロン業務へのパソコンの活用法を考える	
第6回	ビューティ・コーディネーターとは	ビューティ・コーディネーターに必要な能力について考える	
第7回	生産性を高めるフロアマネジメントワーク	一日の基本業務について、全体像を掴む	
第8回	美意識をコーディネートするファッショントリニティを理解する	日本人の美意識について考える	
第9回	美容基礎理論	美容の基礎理論を学ぶ	
第10回	模擬試験	過去問題を実施し、解答解説をする	

到達目標	「ビューティ・コーディネーター検定3級」の資格取得を目指す
成績評価	期末試験、単位認定60点以上
備考	

2019年度シラバス

学科名	学年	課目名	必修選択の別	時間数	単位	実務経験	授業の方法							
授業の概要	1学年	ヘルスケア	-	60	2		講義	演習	実習実技					
							○	○						
授業の概要	身体の構造や機能の他、健康の維持・増進や予防医学のための知識を学ぶ。													
学習目的	アロマテラピーに関する正しい知識の普及・啓発およびその担い手となる人材の育成を目指す。													
教科書	到達目標となる資格試験を主催する団体の発行するテキスト、オリジナルプリント													

授業計画

回	主題	授業内容	備考
第1回	アロマテラピーの基本	アロマテラピーの定義について学ぶ	
第2回	精油の基本	精油がもたらすさまざまな作用について学ぶ	
第3回		精油の抽出法について学ぶ	
第4回		精油の選び方について学ぶ	
第5回		香りの試し方について学ぶ	
第6回	アロマテラピーの安全性	精油を安全に使用するための心得について学ぶ	
第7回	アロマテラピーの実践	アロマテラピーの基材について学ぶ	
第8回		用具について学ぶ	
第9回		アロマテラピーの利用法について学ぶ	
第10回	アロマテラピーのメカニズム	精油が心身に伝わるしくみについて学ぶ	
第11回		嗅覚器から脳へ伝わる経路について学ぶ	
第12回		皮膚に浸透して伝わる経路について学ぶ	
第13回	手作り化粧品	ハーブクラフトを作つてみよう	
第14回		ルームスプレーを作つてみよう	
第15回	アロマテラピーとビューティ&ヘルスケア	睡眠、ストレスについて学ぶ	
第16回		女性ホルモン、スキンケアについて学ぶ	
第17回	アロマテラピーの歴史	古代～現代までの歴史を覚える	
第18回	アロマテラピーに関する法律	アロマテラピーを楽しむうえで知っておきたい法律について学ぶ	
第19回	精油のプロフィール	精油のプロフィールの見方を覚える	
第20回	模擬試験	過去問題を実施し、解答解説をする	

到達目標	「アロマテラピー検定2級」の資格取得を目指す
成績評価	期末試験、単位認定60点以上
備考	

2019年度シラバス

学科名	学年	課目名	必修選択の別	時間数	単位	実務経験	授業の方法							
メディカルビジネス科	1学年	ホスピタリティー	-	90	3		講義	演習	実習実技					
							○	○						
授業の概要	介護の知識や高齢者ケアの他、相手が望むサービスを提供できるようなホスピタリティマインドを学ぶ。													
学習目的	ロールプレイ、グループディスカッション、ワーク等を体験しながら、あらゆる現場で活用できる具体的なコミュニケーション技術を習得する。													
教科書	到達目標となる資格試験を主催する団体の発行するテキスト、オリジナルプリント													

授業計画

回	主題	授業内容	備考
第1回	福祉の基本的理解・社会福祉制度	福祉とは、ノーマライゼーション	
第2回			
第3回	高齢者福祉制度	高齢者福祉制度の概要、介護保険制度について、介護保険で利用できるサービス、地域包括ケアシステム、高齢者に関わる職種	
第4回			
第5回	障がい者福祉制度	障がい者福祉制度の概要、地域生活支援事業	
第6回			
第7回	その他の制度	医療保険制度、児童福祉制度	
第8回			
第9回	福祉理美容とは	福祉理美容士とは、福祉理美容士としての職業倫理、福祉理美容の基本理念	
第10回			
第11回	訪問理美容の現状	訪問理美容対象のお客様を取り巻く環境	
第12回			
第13回	訪問時の基本的留意点	お客様の状況に応じた個別対応	
第14回			
第15回	福祉理美容士のリスクマネジメント	福祉理美容士のリスクとは	
第16回			
第17回	障がい・病気と認知症の理解	障がいと病気への理解、加齢に伴うからだと心の変化	
第18回			
第19回	障がいと病気の種類と留意点	障がいのあるお客様の留意点、障がいの種類、特定疾病について	
第20回			
第21回	認知症高齢者の理解と対応	認知症とは、認知症の種類と特徴、認知症の方への対応	
第22回			
第23回	医療の基本的理解と感染・消毒について	医学と医療、健康と病気	
第24回			
第25回	感染と予防策	感染・感染症について、免疫・自己免疫、消毒の方法・バイタルサイン	
第26回			

第27回	ターミナルケア	ターミナルケアとは	
第28回			
第29回	介助の実習	体位の種類・立ち上がり・起き上がり、ベッド上の移動、車いすの扱い方・車いすでの移動、杖歩行の介助・視覚障碍者の介助・衣服の着脱	
第30回			

到達目標	「メディカルフロントコンシェルジュ技能認定」の資格取得を目指す
成績評価	単位認定、出席率、授業態度、レポート等の提出で総合的判断
備 考	

2019年度シラバス

学科名	学年	課目名	必修選択の別	時間数	単位	実務経験	授業の方法							
授業の概要	1学年	一般教養	-	90	3		講義	演習	実習実技					
							○	○						
授業の概要	様々なカリキュラムを実習し、社会性豊かな人間性を学ぶ。													
学習目的	日々の生活において必要とされる教養を身につけることによって、社会性やコミュニケーション能力を養う。													
教科書	オリジナルテキスト													

授業計画

回	主題	授業内容	備考
第1回	音声学	腹式呼吸	
第2回		話し方	
第3回		発声練習	
第4回		模擬調剤室にてロールプレイング	
第5回	パステルアート	パステルアートとは	
第6回		色と心の関係	
第7回		医療現場におけるアートの大切さ	
第8回		パステルアート作品を描画する	
第9回	ネイルケア	爪について	
第10回		ケアの仕方を実習	
第11回	健康スイーツ	素材への理解	
第12回		グループワーク	
第13回		美肌とは？原因と改善	
第14回		和菓子の利点と和素材について理解する	
第15回	マナー	マナーとは	
第16回		食事のマナー、席次のマナー	
第17回		相手に与える印象の重要性	
第18回		テーブルマナー実習	
第19回	コミュニケーション術	コミュニケーションの大切さ	
第20回		傾聴と信頼の大切さ	
第21回		カラーを使った心理的作用	
第22回		心理的理論	
第23回	ボディメンテナンス	ショルダーマッサージ	
第24回		体幹ストレッチ	
第25回		アロマオイルの効用	
第26回		健康的なチョコレート作り	

第27回	英会話	基本的な挨拶や自己紹介の仕方	
第28回		メディカル関連の用語	
第29回	フラワーアレンジメント	生花の扱い方・活け方	
第30回		ミニアレンジ実習	

到達目標	コミュニケーション能力、的確な言葉遣いの使用、常識とビジネスマナーを身に付け、実際に応用できるビジネス能力の向上を目標とする
成績評価	単位認定、出席率、授業態度、レポート等の提出で総合的判断
備 考	

2019年度シラバス

授業計画

回		授業内容	備考
第1章 【医薬品に共通する特性と基本的な知識】			
第1回	I 医薬品の本質	<ul style="list-style-type: none"> ・医薬品の本質、効き目や安全性に影響を与える要因等について理解する ・購入者等から医薬品を使用しても症状が改善しないなどの相談があった場合には、医療機関の受診を勧奨するなど、適切な助言を行うことができるることを理解する ・薬害の歴史を理解し、医薬品の本質等を踏まえた適切な販売等に努めることができることを理解する 	
第2回	II 医薬品の効き目や安全性に影響を与える要因	1)副作用 2)不適正な使用と有害事象 3)他の医薬品や食品との相互作用、飲みあわせ 4)小児、高齢者などへの配慮 5)プラセボ効果	
第3回	III 適切な医薬品選択と受診勧奨	1)一般用医薬品で対処可能な症状等の範囲 2)販売時のコミュニケーション	
第4回	IV 薬害の歴史	1)医薬品による副作用等に対する基本的考え方 2)医薬品による副作用等に係る主な訴訟	
第2章 【人体の働きと医薬品】			
第5回	I 人体の構造と働き 1 胃・腸、肝臓、肺、心臓、腎臓などの内臓器官 2 目、鼻、耳などの感覚器官 3 皮膚、骨・関節、筋肉などの運動器官 4 脳や神経系の働き	1)消化器系 2)呼吸器系 3)循環器系 4)泌尿器系 1)目 2)鼻 3)耳 1)外皮系 2)骨格系 3)筋組織 1)中枢神経系 2)末梢神経系	
第6回	II 薬の働く仕組み	1)体内で薬がたどる運命 2)薬の体内での働き 3)剤型ごとの違い、適切な使用方法	
第7回	III 症状からみた主な副作用 1 全身的に現れる副作用	1)ショック(アナフィラキシー)、アナフィラキシー様症状 2)皮膚粘膜眼症候群(スティーブンス・ジョンソン症候群)、中毒性表皮壊死症(ライエル症候群) 3)肝機能障害 4)偽アルドステロン症 5)病気等に対する抵抗力の低下	
第8回	2 精神神経系に現れる副作用	1)精神神経障害 2)無菌性髄膜炎	
第9回	3 体の局所に現れる副作用	1)胃腸症状に現れる副作用 2)呼吸機能に現れる副作用 3)心臓や血圧に現れる副作用 4)排尿機能や尿に現れる副作用 5)目や鼻、耳に現れる副作用 6)皮膚に現れる副作用	

第3章 【主な医薬品とその作用】

* 登録販売者試験対策の他、必要に応じてその他検定試験の対策を行う		
第10回	I 精神神経に作用する薬 1 かぜ薬 2 解熱鎮痛薬 3 眠気を促す薬 4 眠気を防ぐ薬 5 鎮暈うん薬(乘物酔い防止薬) 6 小児の疳かんを適応症とする生薬製剤・漢方処方製剤(小児鎮静薬)	1)かぜの発症と諸症状、かぜ薬の働き 2)主な配合成分等 3)主な副作用、相互作用、受診勧奨 1)痛みや発熱が起こる仕組み、解熱鎮痛薬の働き 2)代表的な配合成分、主な副作用 3)相互作用、受診勧奨 1)代表的な配合成分、主な副作用 2)相互作用、受診勧奨等 1)カフェインの働き、主な副作用 2)相互作用、休養の勧奨等 1)代表的な配合成分、主な副作用 2)相互作用、受診勧奨等 1)代表的な配合生薬等、主な副作用 2)相互作用、受診勧奨
		1)咳せきや痰たんが生じる仕組み、鎮咳がい去痰たん薬の働き 2)代表的な配合成分等、主な副作用 3)相互作用、受診勧奨 1)代表的な配合成分等、主な副作用 2)相互作用、受診勧奨
		1)胃の不調、薬が症状を抑える仕組み 2)代表的な配合成分等、主な副作用、相互作用、受診勧奨 1)腸の不調、薬が症状を抑える仕組み 2)代表的な配合成分等、主な副作用 3)相互作用、受診勧奨 1)代表的な鎮痙けい成分、症状を抑える仕組み 2)主な副作用、相互作用、受診勧奨 1)浣腸薬 2)駆虫薬
		1)動悸、息切れ等を生じる原因と強心薬の働き 2)代表的な配合成分等、主な副作用 3)相互作用、受診勧奨 1)血中コレステロールと高コレステロール改善成分の働き 2)代表的な配合成分 3)生活習慣改善へのアドバイス、受診勧奨等 1)貧血症状と鉄製剤の働き 2)代表的な配合成分、主な副作用 3)相互作用、受診勧奨等 1)代表的な配合成分等、主な副作用 2)相互作用、受診勧奨等
		1)痔の発症と対処、痔疾用薬の働き 2)代表的な配合成分等、主な副作用 3)相互作用、受診勧奨 1)代表的な配合成分等、主な副作用 2)相互作用、受診勧奨
		1)適用対象となる体質・症状 2)代表的な配合成分等、主な副作用 3)相互作用、受診勧奨
第15回	VI 婦人薬	1)アレルギーの症状、薬が症状を抑える仕組み 2)代表的な配合成分等、主な副作用 3)相互作用、受診勧奨
第16回	VII アレルギー用薬(鼻炎用内服薬を含む)	1)代表的な配合成分、主な副作用 2)相互作用、受診勧奨
第17回	VIII 鼻に用いる薬(鼻炎用点鼻薬)	1)代表的な配合成分、主な副作用 2)相互作用、受診勧奨
	IX 眼科用薬 一般的な注意事項、主な副作用、相互作用、受診勧奨	1)目の調節機能を改善する配合成分 2)目の充血、炎症を抑える配合成分 3)目の乾きを改善する配合成分 4)目の痒かゆみを抑える配合成分 5)抗菌作用を有する配合成分 6)その他の配合成分(無機塩類、ビタミン、アミノ酸等)と配合目的
第18回	X 皮膚に用いる薬剤型による取扱い上の注意、外皮用薬に共通する主な副作用	1)きず口等の殺菌消毒成分 2)痒かゆみ、腫はれ、痛み等を抑える配合成分 3)肌の角質化、かさつき等を改善する配合成分 4)抗菌作用を有する配合成分 5)抗真菌作用を有する配合成分 6)頭皮・毛髪に作用する配合成分
第19回	XI 歯や口中に用いる薬 1 歯痛・歯槽膿漏そうのうう用薬 2 口内炎用薬	1)代表的な配合成分、主な副作用 2)相互作用、受診勧奨 1)代表的な配合成分、主な副作用 2)相互作用、受診勧奨

第20回 第21回 第22回 第23回 第24回 第4章【薬事関係法規・制度】 第25回 第26回 第27回 第5章【医薬品の適正使用・安全対策】 第28回 第29回 第30回	XII 禁煙補助剤 XIII 滋養強壮保健薬	1)喫煙習慣とニコチンに関する基礎知識 2)主な副作用、相互作用、禁煙達成へのアドバイス・受診勧奨 1)医薬品として扱われる保健薬 2)ビタミン、カルシウム、アミノ酸等の働き、主な副作用 3)代表的な配合生薬等、主な副作用 4)相互作用、受診勧奨	* 登録販売者試験対策の他、必要に応じてその他検定試験の対策を行う
	XIV 漢方処方製剤・生薬製剤 1 漢方処方製剤	1)漢方の特徴・基本的な考え方 2)代表的な漢方処方製剤、適用となる症状・体質、主な副作用 3)相互作用、受診勧奨	
	2 その他の生薬製剤	1)代表的な生薬成分、主な副作用 2)相互作用、受診勧奨	
	XV 公衆衛生用薬 1 消毒薬 2 殺虫剤・忌避剤	1)感染症の防止と消毒薬 2)代表的な殺菌消毒成分、取扱い上の注意等 1)衛生害虫の種類と防除 2)代表的な配合成分・用法、誤用・事故等への対処	
	XVI 一般用検査薬 1 尿糖・尿蛋白検査薬 2 妊娠検査薬	1)尿中の糖、蛋白値に異常を生じる要因 2)検査結果に影響を与える要因、検査結果の判断、受診勧奨 1)妊娠の早期発見の意義 2)検査結果に影響を与える要因、検査結果の判断、受診勧奨	

到達目標	「登録販売者試験」の資格取得を目指す
成績評価	単位認定、出席率、授業態度、レポート等の提出で総合的判断
備 考	

2019年度シラバス

学科名	学年	課目名	必修選択の別	時間数	単位	実務経験	授業の方法							
授業の概要	2学年	医薬品学	-	150	5	○	講義	演習	実習実技					
							○	○						
授業の概要	登録販売者試験を解くのに必要な知識を身に付ける。													
学習目的	医薬品の特性と基本的な知識と主な医薬品の作用を学び、地域に貢献できるコーディネーターを目指す。													
教科書	到達目標となる資格試験を主催する団体の発行するテキスト、オリジナルプリント													

授業計画

回	主題	授業内容	備考
第1回 ↓ 第14回	登録販売者試験過去問題演習	1・2章から15問、3章から15問、4・5章から15問出題 解答解説	
第15回 ↓ 第38回		模擬テスト及び解答解説	
第39回 ↓ 第40回	実際の現場で活躍できる登録販売者としての知識・技能を身に付ける	課題症例についてスモールグループディスカッション(SGD)を行い、その結果を発表する。さらに、それについて意見や質問を行う	
第41回 ↓ 第42回		薬局内の他職種の業務について知る 薬剤師が行っている業務について見学し、体験する	
第43回 ↓ 第44回	実際の現場で活躍できる登録販売者としての知識・技能を身に付ける	課題症例についてスモールグループディスカッション(SGD)を行い、その結果を発表する。さらに、それについて意見や質問を行う	
第45回 ↓ 第46回		薬局内で、他職種と共同して業務を行うことを学ぶ 薬局内での一連の業務について体験する	
第47回 ↓ 第48回	実際の現場で活躍できる登録販売者としての知識・技能を身に付ける	課題症例についてスモールグループディスカッション(SGD)を行い、その結果を発表する。さらに、それについて意見や質問を行う	
第49回 ↓ 第50回		薬局内で、他職種と共同して業務を行うことを学ぶ 薬局内での一連の業務について体験する	

到達目標	「登録販売者試験」の資格取得を目指す
成績評価	期末試験、単位認定60点以上
備考	

2019年度シラバス

学科名	学年	課目名	必修選択の別	時間数	単位	実務経験	授業の方法							
授業の概要	2学年	医療事務	-	210	7	○	講義	演習	実習実技					
							○	○						
授業の概要	「病院窓口としての顔」「顧客満足度向上のエキスパートの顔」となるコンシェルジュの役割を理解し、病院の業務改善への貢献と、患者様にサービスを提供する技術を習得する。法律関係や医学知識などじっくり学び、診療録の法的規定や文書作成など実務的な知識と技能の習得を目指す。													
学習目的	医療事務に求められる専門的な知識・技術を習得し、必要とされる各種検定を取得しながら、病院やクリニックなどで活躍できる人材の育成を目指す。													
教科書	到達目標となる資格試験を主催する団体の発行するテキスト、オリジナルプリント													

授業計画

回	主題	授業内容	備考
第1回	ヒューマンスキル・ビジネススキル確認	医師事務作業補助者としてのスキル	
第2回			
第3回	社会保障制度・医療保険制度	社会保障制度の中の、医療保険制度	
第4回			
第5回	関連法規	各法規等のポイントを抜粋し学習する	
第6回			
第7回	医学一般	カルテを読み取る為に必要な専門知識を習得する	
第8回			
第9回	薬学一般	カルテを読み取る為に必要な専門知識を習得する	
第10回			
第11回	医療保険制度・薬学	問題に取り組み、理解度を確認する	
第12回			
第13回	医師事務作業補助業務 カルテ記載、電子カルテ	医師事務作業補助者の必要性、カルテ記載、電子カルテシステム	
第14回			
第15回	個人情報保護 医療機関における安全管理	守秘義務、院内感染防止、医療安全管理	
第16回			
第17回	診断書、証明書作成	目的、記載事項の確認をし、具体的な症例から練習する	
第18回			
第19回	傷病手当金支給申請書、死亡診断書	目的、記載事項の確認をし、具体的な症例から練習する	
第20回			
第21回	死体検案書、院外処方箋	目的、記載事項の確認をし、具体的な症例から練習する	
第22回			
第23回	診療情報提供書、医療要否意見書	目的、記載事項の確認をし、具体的な症例から練習する	
第24回			
第25回	休業補償給付申請書	目的、記載事項の確認をし、具体的な症例から練習する	
第26回			
第27回	自動車損害賠償責任保険	目的、記載事項の確認をし、具体的な症例から練習する	
第28回			

第29回	治療装具証明書、主治医意見書	目的、記載事項の確認をし、具体的な症例から練習する	
第30回			
第31回 ↓ 第42回	理解度チェック 受験対策	修了レポート問題にて理解度の確認 模擬試験問題等での演習	
第43回 ↓ 第52回			
第53回 ↓ 第63回	期末試験対策	模擬試験問題等での演習	
第64回 ↓ 第67回			
第68回 ↓ 第70回	習熟度確認 ヒューマンスキル確認	模擬試験問題等での演習 ロールプレイング等を実施	

到達目標	「医師事務作業補助技能認定試験(ドクターズクラーク)」の資格取得を目指す
成績評価	期末試験、単位認定60点以上
備 考	

2019年度シラバス

学科名	学年	課目名	必修選択の別	時間数	単位	実務経験	授業の方法							
授業の概要	2学年	調剤事務	-	90	3	○	講義	演習	実習実技					
							○	○						
授業の概要	薬学一般、保険薬局業の他、サプリメント製造についての基本的知識を学び、実習する。													
学習目的	薬に対する幅広い知識を持つとともに、医療人にふさわしい高い実践力と研究力を併せ持った人材の育成を目指す。													
教科書	到達目標となる資格試験を主催する団体の発行するテキスト、オリジナルプリント													

授業計画

回	主題	授業内容	備考
第1回	サプリメントの知識	青森県産機能性素材	
第2回		サプリメント(商品)開発フロー	
第3回		製造工程と検討事項	
第4回	実習	打錠実験	
第5回	サプリメント・健康食品の効き目と安全性	活用する際の注意点、正しい選び方	
第6回		正しい使用方法、保存方法	
第7回		サプリメントの種類 1)関節系サプリメント 2)美容系サプリメント 3)燃焼系サプリメント 4)ハーブ系サプリメント	
第8回		摂取する栄養素	
第9回		グループワーク	
第18回			
第19回			
第20回			
第21回			
第22回			
第23回	実習	サプリメント試験実習	
第30回			

到達目標	サプリメント製造に関わる知識を習得し、オリジナルのサプリメントを作る
成績評価	単位認定、出席率、授業態度、レポート等の提出で総合的判断
備考	

2019年度シラバス

学科名	学年	課目名	必修選択の別	時間数	単位	実務経験	授業の方法							
授業の概要	2学年	パソコン	-	90	3	○	講義	演習	実習実技					
							○	○						
授業の概要	ワードの基本的な編集機能と、エクセルの基本的な操作を学ぶ。													
学習目的	MOS試験に合格を目指し、事務仕事を行う上でスムーズに書類の作成が出来るようにする。 文章の作成と管理を学習する。													
教科書	到達目標となる資格試験を主催する団体の発行するテキスト、オリジナルプリント													

授業計画

回	主題	授業内容	備考
第1回	ワークシートやブックの作成	ワークシートやブックを作成する	
第2回		ワークシートやブック内を移動する	
第3回		ワークシートやブックの書式を設定する	
第4回		ワークシートやブックのオプションと表示をカスタマイズする	
第5回		印刷または保存するためにワークシートやブックを設定する	
第6回		確認問題	
第7回	セルやセル範囲の作成	セルやセル範囲にデータを挿入する	
第8回		セルやセル範囲の書式を設定する	
第9回		セルやセル範囲を並べ替える、グループ化する	
第10回		確認問題	
第11回	テーブル作成	テーブルを作成する	
第12回		テーブルを変更する	
第13回		テーブルのレコードを抽出する、並べ替える	
第14回		確認問題	
第15回	数式や関数の適用	数式を使用する	
第16回		関数を使用する	
第17回		関数で条件付き論理を使用する	
第18回		文字列操作関数を使用する	
第19回		確認問題	
第20回	グラフやオブジェクトの作成	グラフを作成する	
第21回		オブジェクトを作成する	
第22回		確認問題	
第23回	模擬試験プログラムの使い方	模擬試験プログラムの学習方法、使い方	
第24回 ～ 第30回	模擬試験	模擬試験問題を解き、解答解説	

到達目標	「MOS(エクセル)試験」の資格取得を目指す
成績評価	期末試験、単位認定60点以上
備考	

2019年度シラバス

学科名	学年	課目名	必修選択の別	時間数	単位	実務経験	授業の方法							
授業の概要	2学年	ビジネスマナー	-	30	1	○	講義	演習	実習実技					
							○	○						
授業の概要	社会人に求められる常識的な心得を十分理解させ、ビジネスコミュニケーション全般を学ぶ。													
学習目的	ビューティ・コーディネーターの役割、必要な知識やスキルについて理解し、お客様に適切な対応ができる人材の育成を目指す。													
教科書	到達目標となる資格試験を主催する団体の発行するテキスト、オリジナルプリント													

授業計画

回	主題	授業内容	備考
第1回	お客様のライフ・コーディネート	ビューティ・コーディネーターの役割を学ぶ	
第2回	カウンセリングの基本	カウンセリング前の情報収集について学ぶ	
第3回	カウンセリングの技術	全体の流れを把握する	
第4回	クレーム対応	クレーム対応の基本とクレーマーへの対応を学ぶ	
第5回	カウンセリングのための応用技術	お客様のタイプに合わせた話し方の練習法	
第6回	サロン・オペレーションとチームワーク	サロンで求められるチームワークについて学ぶ	
第7回	店販商品の販売促進	店販商品のディスプレイについて学ぶ	
第8回	サロン顧客のデータ管理	係数管理やエリアマーケティングについて学ぶ	
第9回	ビジネス用語集	ビジネス用語集を覚える	
第10回	模擬試験	検定試験に向けて、過去問題をやらせ解答解説をする	

到達目標	「ビューティ・コーディネーター検定2級」の資格取得を目指す
成績評価	期末試験、単位認定60点以上
備考	

2019年度シラバス

学科名	学年	課目名	必修選択の別	時間数	単位	実務経験	授業の方法							
授業の概要	2学年	ヘルスケア	-	60	2	○	講義	演習	実習実技					
							○	○						
授業の概要	身体の構造や機能の他、健康の維持・増進や予防医学のための知識を学ぶ。													
学習目的	化粧品やサプリメント、健康補助食品の販売に必要な知識を習得し、正しい判断でお客様へアドバイスできる人材の育成を目指す。													
教科書	到達目標となる資格試験を主催する団体の発行するテキスト、オリジナルプリント													

授業計画

回	主題	授業内容	備考
第1回	からだの構造・機能	皮膚・血管・毛	
第2回		目・口・のど・歯	
第3回	ホルモンの働き	女性ホルモン・男性ホルモン	
第4回	皮膚のトラブル	シミ・肝斑・ソバカス	
第5回		肌荒れ・シワ・たるみ・くすみ・黒ずみ	
第6回		くま・ニキビ・吹き出物・日焼けに	
第7回		アトピー性皮膚炎・いぼ・接触性皮膚炎・かぶれ・しもやけ	
第8回		水虫・魚の目・たこ・ワキガ・セルライト	
第9回	毛髪のトラブル	パサつき・枝毛・切れ毛・抜け毛	
第10回		くせ毛・白髪・頭皮湿疹・フケ	
第11回	衛生管理について	細菌・ウイルス・カビ・消毒薬の種類	
第12回	美容・エステ・コスメ・などに関する専門的な用語	美肌・エステ・その他の用語	
第13回	化粧品、医薬部外品、及び医薬品の美容成分について	保湿成分・美白成分・消炎成分・收れん成分	
第14回		エモリエント成分・バリア機能成分・安定化成分	
第15回		育毛成分・アンチエイジング成分・着色成分・オーラルケア成分	
第16回	サプリメント・保健用食品などの美容成分について	ビタミン・ミネラル・三大栄養素(糖質・脂質・タンパク質)	
第17回		特定保健用食品と関与成分・栄養機能食品(ミネラル)と、表示が許可されている栄養機能	
第18回		栄養機能食品(ビタミン)と、表示が許可されている栄養機能	
第19回		サプリメント(燃焼系サプリ)	
第20回	模擬試験	過去問題をやらせ、解答解説をする	

到達目標	「美容薬学検定試験」の資格取得を目指す
成績評価	期末試験、単位認定60点以上
備考	

2019年度シラバス

学科名	学年	課目名	必修選択の別	時間数	単位	実務経験	授業の方法							
メディカルビジネス科	2学年	ホスピタリティー	-	90	3	○	講義	演習	実習実技					
							○	○						
授業の概要	介護の知識や高齢者ケアの他、相手が望むサービスを提供できるようなホスピタリティマインドを学ぶ。													
学習目的	「病院窓口としての顔」「顧客満足度向上のエキスパートの顔」となるコンシェルジュの役割を理解し、病院の業務改善への貢献と、患者様にサービスを提供する技術を習得する。法律関係や医学知識などじっくり学び、診療録の法的規定や文書作成など実務的な知識と技能の習得を目指す。													
教科書	到達目標となる資格試験を主催する団体の発行するテキスト、オリジナルプリント													

授業計画			
回	主題	授業内容	備考
第1回	メディカルフロントコンシェルジュの役割	サービスの基本	
第2回		医療機関の仕組みについて	
第3回		病院の運営について	
第4回	医療保険制度	医療保険制度について	
第5回		患者中心の医療	
第6回		診療報酬	
第7回	患者接遇	DVD「病院の部署と各職種の仕事」	
第8回		DVD「身だしなみと基本動作」	
第9回		DVD「患者様の受診の流れ」	
第10回		DVD「サービスの満足度を上げる3力条」	
第11回		DVD「患者様の心理に対応する接遇」	
第12回		DVD「クレーム対応と対策」	
第13回		患者接遇	
第14回		患者接遇	
第15回 ～ 第19回	業務改善	ロールプレイング・グループワークにて接遇の確認	
第20回	実技実習	車椅子等を使い、実技実習を行う	
第21回	修了試験	修了試験問題	
第22回	期末テスト対策	修了試験問題他	
第23回 ～ 第32回	理解度チェック	修了レポート問題にて理解度の確認	
第33回 ～ 第45回	受験対策	模擬試験問題等での演習	
第46回 ～ 第58回	期末試験対策	模擬試験問題等での演習	
第59回 ～ 第65回	習熟度確認	模擬試験問題等での演習	
第66回 ～ 第70回	ヒューマンスキル確認	ロールプレイング等を実施	

到達目標	「メディカルフロントコンシェルジュ技能認定」の資格取得を目指す
成績評価	単位認定、出席率、授業態度、レポート等の提出で総合的判断
備 考	

2019年度シラバス

学科名	学年	課目名	必修選択の別	時間数	単位	実務経験	授業の方法							
授業の概要	2学年	一般教養	-	90	3	○	講義	演習	実習実技					
							○	○						
授業の概要	様々なカリキュラムを実習し、社会性豊かな人間性を学ぶ。													
学習目的	日々の生活において必要とされる教養を身につけることによって、社会性やコミュニケーション能力を養う。													
教科書	オリジナルテキスト													

授業計画

回	主題	授業内容	備考
第1回	身だしなみ	爪の手入れ	
第2回		ネイルケア	
第3回		ネイルアート①	
第4回		ネイルアート②	
第5回 ～ 第8回	話し方実習	模擬調剤室にてロールプレイング	
第9回	ボディメンテナンス	バランスボール運動	
第10回		ストレッチ	
第11回		体幹トレーニング	
第12回		バランスボール運動	
第13回	身だしなみ	ナチュラルメイク	
第14回		就活メイク	
第15回		髪の手入れ	
第16回		ヘアアレンジ	
第17回	パステルアート	パステルアートとは	
第18回		色と心の関係	
第19回		医療現場におけるアートの関わり	
第20回		パステルアート実習	
第21回	救命救急	救命救急とは	
第22回		AEDの使い方	
第23回		炊き出し訓練	
第24回			
第25回	健康と食品	素材への理解	
第26回		グループワーク	
第27回		アレルギーについて	
第28回		健康スイーツ実習	
第29回	フラワーアレンジメント	造花の扱い方	
第30回		ミニアレンジ	

到達目標	コミュニケーション能力、的確な言葉遣いの使用、常識とビジネスマナーを身に付け、実際に応用できるビジネス能力の向上を目標とする
成績評価	単位認定、出席率、授業態度、レポート等の提出で総合的判断
備考	

2019年度シラバス

学科名	学年	課目名	必修選択の別	時間数	単位	実務経験	授業の方法							
授業の概要	2学年	試験対策	-	90	3	○	講義	演習	実習実技					
							○	○						
授業の概要	二年次に受験する登録販売者試験を受験するにあたり、1章から5章までの内容理解と、過去問題を解き問題の傾向を理解する。													
学習目的	医薬品の特性と基本的な知識と主な医薬品の作用を学び、地域に貢献できるコーディネーターを目指す。													
教科書	到達目標となる資格試験を主催する団体の発行するテキスト、オリジナルプリント													

授業計画

回	主題	授業内容	備考
全30回	各都道府県の過去問題による模擬試験	第1章～第5章 120問の模擬試験と解答解説	*登録販売者試験対策の他、必要に応じてその他検定試験の対策を行う

到達目標	「登録販売者試験」の資格取得を目指す
成績評価	単位認定、出席率、授業態度、レポート等の提出で総合的判断
備考	